

令和五年度のスタートにあたって

支部長 根本保男

コロナウイルスの猛威により、令和二年度からほとんどの田村支部活動を中止せざるを得ませんでした。しかし、昨年十一月に、ようやくコロナウイルスの隙間をねらい研修旅行を実施できました。なお、研修旅行の様子については、福島県公立学校退職校長会ホームページ田村支部に掲載しましたので、ご覧いただければ幸いです。

そして、四年ぶりに、以前のように、現職小・中学校長会長様のご臨席を賜り、新会員の方々と顔を合わせて支部総会・懇親会を開催することができました。総会では、令和二年度、三年度、四年度、五年度それぞれの新会員の方々よりご挨拶をいただきました。本当に心強いスタートとなりました。それぞれの思いを伝え合うためには、顔と顔を合わせ語り合うことの大切さをしみじみと感じまし

た。また、今年度は役員改選の年度となっております。令和五年度、六年度の役員は次の通りです。どうぞよろしくお願いいたします。

(支部長) 根本保男 (副支部長) 佐久間光春、菅野正秀、山内光樹 (監事) 船田隆典、會田慶吾 (庶務) 冨塚忠夫 (会計) 高橋秀章 (研修) 部長・谷川健二、 副部長・佐藤道拓 (広報) 部長・佐久間金治、 副部長・吉田勇、御代田進一 (調査) 部長・根内喜代重、 副部長・遠藤さとみ、安瀬一正

田村支部諸活動の充実に向け、役員一同精一杯努力したいと思えます。支部諸活動におけるご理解・ご支援、忌憚のないご意見・ご助言を何とぞよろしくお願い申し上げます。

新会員の方々よりのメッセージ

四月より、新たに六名の会員が加わりました。

本年三月に退職された五名の方々よりのメッセージをご紹介します。

入会の方へ 安生 昌弘



令和五年三月三十一日をもって定年退職し、退職校長会に入会させていただきましたことになりました。諸先輩方の仲間入りをさせていただくという事で、退職の緩んだ気持ちから再び身の引き締まる思いに気持ちしがみついている今日この頃です。

昭和、平成、令和と教育が大きく変化する三十八年間の教員生活でしたが、八校と三つの教育行政機関でお世話になりました。若かった教員時代には学校以外の教育行政機関に八年間もお世話になるとは思いもしませんでした。学校での指導や管理に役立つ得難い経験をたくさん積むことができました。

制度上最後の再任用校長として、教員として育てていただいた三春町に奉職することになりました。自分の経験を活かした新任校長の育成に、二年間の任期を全力で勤めたいと考えています。退職校長会の皆様にも折に触れてアドバイスをいただければ有り難いと存じます。

入会の方へ 白石 修子



令和五年三月三十一日をもって、三春町立

御木沢小学校を最後に定年退職し、退職校長会に入会させて頂くことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

昭和六十一年四月一日に、本宮小学校で教師としての第一歩を踏み出してから三十七年間、多くの先輩方や同僚にお世話になりました。どの方からも、子どもを育て伸ばす為の努力を惜しまず、熱い情熱を傾ける姿を学ばせていただきました。そして、たくさん支えていただきました。学級経営で悩んだ初任者時代も、学校全体に関わる活動の企画運営に挑んだ中堅時代も、特別支援教育に出会って研修に邁進した時代も、どんなときも、先輩方や同僚の皆さんが、力強く支え導いてくださいました。お陰様で、子ども達や先生方の成長を感じながら、現在を迎えることができました。大変幸せな教師人生でした。特に、田村地区での校長として過ごした四年間は、先輩方が近くにいってください、導いてくださることを心の支えとして学校経営に力を尽くすことができました。育てていただければ三十七年間でした。ありがとうございました。今後は、これまでの学びを生かして、地域の皆さんのために、何か一つでもお役に立てるように力を尽くしたいと思います。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

くまがらみさん

中山 智成

令和五年三月末日をもって定年退職し、このたび退職校長会に入会させて頂くことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

昭和六十二年四月、安達郡岩代町立百目木小学校に新採用教員として赴任して以来、田村市立滝根小学校を最後に三十六年間の教員生活を無事終えることができました。

これも偏に先輩の諸先生方の温かいご指導のお陰と深く感謝申し上げます。

三十六年の間には、県北・県中・南会津の三管内、五地区で勤務させて頂き、小学校・中学校の両方の校長職を務めさせていただいたことは義務教育九年間を見通した学校経営のために貴重な経験となりました。

今後とも、これまで同様先輩の諸先生方のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。入会に際してのごあいさつといたします。



くまがらみさん

猪狩 仁

令和五年三月末日をもって三春町立三春小学校を最後に定年退職し、退職校長会に入会させて頂くことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

昭和六十年四月一日、私の教職生活は福島市立福島養護学校の小学部(当時は特別支援学校ではなく養護学校でした)で始まりました。小学校で受験した自分にとっては青天の霹靂でした。着任する数日前、事前の打ち合せ(挨拶)に養護学校に出向いた私は、一年生教室に案内され担当者が来るのを待っていました。その時、廊下のずっと先の方から奇声を発しながら、一年生教室に猛然と走ってくる人影が目にとまりました。その子への対応をどうすればよいのか分からなかった私は、とっさに教室の脇にあった教材室に駆け込み、身を隠したことを昨日のことのように覚えていきます。また、お仕えした中丸良彦校長先生の「教育の内容や方法は異なっても教育の目的は変わらない。」という金言も忘れられないものとなりました。

そして、最後の勤務地となった三春小学校



での三年間はコロナに始まりコロナに明け暮れる日々でした。「コロナと共にやってきてコロナと共に去っていった校長」などと言われそうです。ただ、教職に就いたあの日から、いつもどのような状況にあっても、子どもたちの真剣な眼差しやはじけるような笑顔との出会いを糧に、走り続けることができたと思っております。ご支援ご指導いただいた尊敬すべき諸先輩や同僚、ご理解ご協力いただいた保護者や地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

退職校長会の諸先生方には、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。また、微力ながら会員としての役割を果たしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

くまのいんこう

助川 徹



令和五年三月三十一日をもちまして、母校である田村市立船引中学校を最後に定年退職し、退職校長会に入会させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昭和六十一年四月、檜葉中学校を振り出しに、三十七年間の教員生活を全うすることができました。その間、各勤務地におきまして、明るく素直で元気な生徒、情熱あふれる先生方に囲まれ、協力を惜しまない保護者の皆様や地域の皆様に支えられ、終生忘れられない貴重な経験をさせていただきました。皆様方からひとかたならぬご指導やご助言、ご支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

特に、校長として田村に戻ってきてからの四年間は、先輩の校長先生方から学校経営やコロナ対応など、様々なことについてのご指導やご助言をいただき、お陰様で何とか教育活動を推進することができました。最後の三年間は、コロナ禍における様々な制限が強いられた厳しい三年間ではありましたが、「今できる精一杯のことをしよう!」と、みんなで知恵を出し合いながら一歩ずつ着実に前に進んで参りました。

私たちは、コロナ禍の生活で多くの尊いもの(チャンス)を失いましたが、この困難に立ち向かう中で、生徒、保護者、先生、地域との協力の大切さを再認識し、みんなで力を合わ

せて前に進もうとする力の強さを感じることができました。五月八日から新型コロナウイルス感染症が感染症法上の五類感染症に位置付けられますので、それ以降は、今までよりも活動の制限が緩やかに、子どもたちの教育活動において、さらに広がりや深まりが可能になると楽しみにしております。

今後は、皆様方からいただきましたご厚情を胸に、新たな生活を心豊かに充実したものにしていきたいと思っております。退職校長会の皆様には、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本年四月より、昨年三月に福島県立白河高等学校で退職なされました**白石文夫先生**にもご入会いただきました。

六名の先生方のご入会を心より歓迎いたします。田村支部での交流等どうぞよろしくお願いいたします。

ご訃報

渡邊 宗一 先生、 大山 俊 先生、
佐久間 コト 先生、 夏井 宏治 先生、
角 悟朗 先生 がご逝去なされました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和五年度「総会」「懇親会」
 集合写真・スナップ写真です



四年間分・・・
 新会員の方々より
 ご挨拶をいただき
 ました

現職校長会より
 ご臨席を賜り、
 総会でご挨拶を
 いただきました



吉田勝人先生の乾杯のご発声で懇親会が
 スタートしました。和やかな雰囲気の中
 楽しいひと時を過ごすことができました。